

# 育成 あさくち

平成 26 年 5 月 8 日  
浅口市青少年育成センター  
NO. 1

## 「浅口市青少年育成センター」の紹介

浅口市では青少年の自立と非行の未然防止のため、平成 25 年 4 月 1 日に青少年育成センターを設立しました。青少年育成センターでは青少年育成指導員の皆さんと自主的な活動団体である浅口市青少年育成活動協議会及び各支部の皆さんの協力のもと、多くの方々に青少年を温かく見守っていただきながら家庭・学校・地域・関係機関・団体等と連携し、青少年の健全育成活動に取り組んでいます。

### スタッフ紹介

浅口市青少年育成センター長 飯田 秀男

平成 26 年 4 月 1 日付けで育成センター勤務をしています。あいさつ運動で校門に立っていると「めざせ あいさつ 日本一」というのぼりのもと、小学生、中学生、幼児の皆さんの元気の良い「おはようございます」という声が返ってきます。“たかがあいさつ、されどあいさつ” 短い言葉を交わすだけで一日の貴重なエネルギーをもらった感じがします。地域の皆さんが自然なあいさつが交わせるような雰囲気をお願いしたいなと思います。

専任指導員 松岡 干城

同センター発足し 1 年が経過しました。当初の目標であるあいさつ運動では、市内公立中学校校門などで行いました。あいさつ運動で子どもたちから気持ちのよい返事や平素のスムーズな会話ができるようになりました。このような活動ができたのも指導員の皆様をはじめ、関係機関・団体などご指導、ご支援をいただいたものと感謝しております。今後もより充実した浅口市育成センターの活動を行うためにも、皆様方のより一層のご指導ご支援をお願いいたします。

### 4 月の主な活動報告

4 月 30 日（水）浅口市青少年育成センター運営委員会が開催されました。平成 25 年度の状況報告と平成 26 年度の活動計画等を運営委員の方々に熱心に協議していただきました。その会議で出たご意見の一部を紹介します。

- ・昨年度開所以来、補導活動等熱心にされているが、スタッフ 2 名で十分な相談活動等可能か
- ・地域によって補導状況等の数に大きな違いがあるが、どうしてなのか
- ・玉島警察署管内における浅口市の補導状況報告
- ・幼い頃からの道徳心のかん養と地域のコミュニティー力の大切さ

etc



### 4 月の青少年育成センター活動状況

喫煙指導 3 人 声かけ活動 5 6 人

### 5 月の主な行事予定

- |                                 |                   |
|---------------------------------|-------------------|
| 13 日（火）定例補導（鴨方地区）               | 22 日（木）列車補導       |
| 15 日（木）定例補導（寄島地区）               | 27 日（火）定例補導（金光地区） |
| 28 日（水）育成センター指導員委嘱状交付式および総会・研修会 |                   |



「その校則どこに書いているんですか!？」  
～ 不文律と明文化の狭間で考えること ～

岡山県立鴨方高等学校  
土屋真二

多くの中学校や高校では校則または生徒心得を生徒手帳などに示している。とはいえ、法律のような詳しい定義や具体的な指導内容までは明記していないことが多い。校則とは学校で集団生活を送る上での大切な約束事であるが、様々なケースや指導内容の詳細に至るまで生徒手帳では触れることには私は賛成しない。

しかし近年、問題行動で指導しようとする、生徒または保護者から「それは校則ですか?どこに書いているんですか?」とか「校則違反だとしても、なぜそのような厳しい処置になるんですか!？」と言われることがある。学校で行う生徒指導とは「一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動」である。単なる処罰ではなく、今後の生徒の成長を期して行う「指導」であることを再認識していただく必要があると感じる。

平成26年4月11日の毎日新聞朝刊に、「校則がほとんどなく自主性を重んじる名門校も、ルールを定めざるを得ない状況になっている」という記事が出ていた。スマートフォン(スマホ)の授業中の使用を規制するために、今まで不文律でサンダル履きや茶髪などを戒める程度だった灘中高や麻布中高が、自由と自律を重んじる校風を変えてまで校則を明文化する事態になったという。

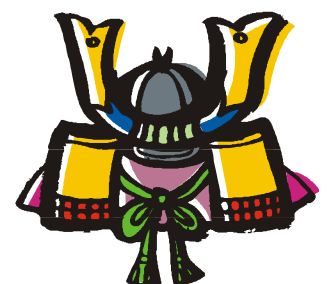
私が憂慮するのは、「明文化されていないことには従わなくてもよい」という風潮になることである。そうなれば、学校は指導の対象とすることすべてを明文化しなければならなくなるだろう。果たして本当にそれが生徒のためになるのか。自分の言動を謙虚に反省することなく、法の隙間を見ついたり人の揚げ足を取ったりする大人を育てることになりはしないだろうか。

かつてアメリカ中西部にいた頃、バスや電車内でよく目にした掲示「ヴァンダリズム (vandalism) の禁止」(ヴァンダル族が文化・器物破損を行ったローマ侵略行為から生じた言葉)を思い出す。アメリカは多民族国家ゆえに「暗黙の了解」とか「言わぬが花」は通用せず、「公共の乗り物の中では大音量で音楽を流してはいけない」とか「車内を食べ物で汚してはいけない」とか「イスを壊したり持ち帰ってはいけない」のようなことまで具体的に明記されていた。日本は明文化しなくても常識が通用する、なんと素晴らしい国なんだと故国を誇りに思ったものである。(しかし最近、日本でもJRが迷惑行為を具体的に挙げてマナー向上を呼びかけている掲示を見かけると、少し情けない気がしますね)

与えられた紙幅も尽きてきた。私の理想としたい生徒心得は、人として大切なことのみを載せたシンプルなものである。昨今の学校の現状を考慮していないと一笑に付されそうだが、最低限のことだけで事足りるような古き良き時代への憧れでもある。昨年、ブームとなった会津藩の「什(じゅう)の掟」の3つと最後の決まり文句を理想の生徒心得としたい。

- 一、虚言を言ふ事はなりませぬ
- 二、卑怯な振舞をしてはなりませぬ
- 三、弱い者をいぢめてはなりませぬ

ならぬことはならぬものです



(鴨方高等学校の土屋先生、原稿ありがとうございました。これからも青少年の健全育成について、日ごろ考えられているご意見感想、ちょっと感動した経験等掲載してまいりたいと思います。寄稿してくださる方は、浅口市青少年育成センター ☎0865-45-8833 までご連絡ください。お待ちしております)

# 育成 あさくち

平成26年6月13日  
浅口市青少年育成センター  
NO. 2

## 「浅口市青少年育成センター事業所」が移動しました！（お知らせ）

浅口市育成センターを設置して、1年少々が経ちましたが、6月2日に場所が移動しましたのでお知らせします。ちなみに住所、電話、ファックス、eメールアドレス等の変更はありません。多少、狭くなりましたが、生涯学習課等の他の部署との連携を深めながら中身の濃い活動をしていきたいと思っております。

### ※場所は？

場所は同じ中央公民館内ですが、生涯学習課、文化振興課と同じフロアに移動しました。

### ○ホームページ

ホームページをリニューアルしました。今までの内容をより詳しく、一番新しい情報を提供できるように更新をしました。「育成あさくち」も発行ごとにアップしていきます。

### ○育成相談

落ち着いて相談できるよう、相談室を準備しました。ご心配なことがあれば、不安が小さな時こそチャンスです。多くの皆さま、ご利用ください。（秘密は厳守、無料です。）

## 浅口市青少年育成指導員委嘱状交付式並びに指導員連絡協議会総会・研修会開催

5月28日（水）に標記の会が中央公民館大講義室で開催されました。平成25年度の活動報告等と平成26年度の活動計画等を指導員の方々に熱心に協議していただきました。その後の研修会では、石田幸恵玉島警察署少年補導員さんより「青少年の現状と課題」と題してご講演いただきました。

1 委嘱状交付式 新に5人の方を委嘱しました。

2 総会 一部を紹介します。

- ・昨年度の笠岡育成センターからの繰入金が無くなることを考えて、十分な活動をするためにも何らかの予算措置が必要ではないか。
- ・今年の広域補導のPTAの方の参加活動費はどうなっているか？etc

3 研修会

- ・講演では少年補導員としての体験を通して、青少年とのかかわりの難しさや心が触れ合えた時の喜びなど、青少年育成指導員としてのやりがいについてご示唆いただきました。
- ・「サイバー犯罪について」啓発DVD視聴
- ・質疑応答 活発にご発言いただきました。

## 5月の青少年育成センター活動状況

喫煙指導1人 遅刻指導3人 声かけ活動45人

## 6月の行事予定

定例補導 金光地区（4, 17日） 鴨方地区（6, 11日） 寄島地区（25日）

列車補導（19日） 鴨方PTA補導（20日） 中学高等学校連絡会（13日）

浅口市青少年育成活動協議会総会（26日）

## 7月の主な行事予定 「青少年健全育成強調月間」（岡山県）

11日（金）高校補導連絡協議会（浅口市中央公民館）

16日（水）18日（金）街頭キャンペーン（鴨方駅・金光駅周辺）



「浅口市青少年育成センター長としての一年を振り返って」

浅口市青少年育成指導員 西本 晋也

昨年、縁あって青少年育成センターの設置と運営にかかわらせていただきました。センターの新設にあたっては、「地域の実情に合わせて、よりきめ細やかな活動はできないか」という栗山市長の一言から、平成25年4月1日の設立に至りました。その意に沿って、一年間で何とか形は整いましたが、問題は中身です。課題として気掛かりだった、広報紙「育成だよりの発行」と「相談業務の充実」は、飯田所長さんにしっかり引継がせていただきました。早速、「育成あさくち」第1号が発刊されました。頼もしい限りです。

センターの設立当初は、具体的な活動や取り組みをどのようにしたらよいだろうかと不安を抱いていましたが、幸いにも笠岡青少年育成センターから引き続き来ていただくことになった専任指導員の松岡さんの経験や希望をしっかりと聞くことができ、思いのほか早く重点目標や方針を決定することができました。

センターの活動の柱は、やはり毎日の補導活動と位置づけ、中学生や高校生に出会う機会をつくるのが大切だと考えました。登下校時間や曜日・季節によっても巡回の時間帯を工夫してきました。そして初年度は公立の中学校だけになりましたが、校門での早朝あいさつ運動を行いました。このことで生徒たちに顔を知ってもらい、思わぬ効果を生むことにもつながりました。なんと声掛けがスムーズになるのです。知らない人ではなく、ときどき校門に立っているおじさんなのです。話しかけやすい雰囲気をつくることにつながりました。

しかし課題もたくさん見えてきました。研修会でもテーマとして取り上げましたが、大人、保護者の見えない世界、LINEをはじめとするネットによるいじめ、トラブル、犯罪が急増しています。新聞でも「子供が危ない…。深刻化するネットの闇」など再三取り上げられ警鐘が鳴らされています。

他にも直面する課題として、高校生の喫煙の多さがあります。2学期に入り、高校生の喫煙場面に遭遇するケースが増加しました。それも、人目もはばからない。通学途中に学生服でタバコを吸いながら車の行き交う道を歩く。公園や駐車場でも吸うといった調子です。問題はここからです。喫煙行為を確認し、足元に煙るタバコがあり、他に通行人がいなくても、自ら吸ったことを「認めない。していない。吸っていない。」と否認する。あげくの果てに逃げる。我々の権限からいうと、これ以上踏み込めない限界を感じました。「嘘をつき通し、逃げ得を許すことが非行を助長するのではないか。」この子たちの「嘘をつき通す人生が始まるのか。」と思うと残念だし釈然としないものを感じました。社会に出てつまづかないために、何ができるのだろうか。どうすればいいのか…。

最後に、市長の政策の1つでもある、学力向上1プロジェクトの成功は、育成センターが行う青少年の非行防止・健全育成活動との両面での底上げが大切ではないかと常々、私は思っています。

一年間支えてくださった皆様に感謝を申しあげますとともに、今後のセンターの益々の発展をお祈りいたします。なお、今年度からは青少年育成指導員として関わらせていただくことになりました。また、よろしく願います。

(西本様ありがとうございました。これからも青少年の健全育成について、いろいろな方の日ごろ考えられていることを掲載、紹介していきたいと思えます。寄稿してくださる方は、浅口市青少年育成センター☎0865-45-8833までご連絡ください。お待ちしております。)

(裏面に7月補導計画掲載)